

まちづくり交付金 事後評価シート
山本・中山手地区

平成21年12月

兵庫県神戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	神戸市		地区名	山本・中山手地区			面積	24.9ha		
交付期間	平成19年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	894百万円		国費率	0.399			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	既存建造物活用事業(旧神戸移住センター再整備)、地域生活基盤施設(案内板)、高質空間形成施設(シンボルツリー植樹)										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(異文化共存のあり方の社会実験)										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業		基幹事業	なし										
提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	入込観光客数	人/年	7,903	H17	15,000	H21		30,000	○	ありなし	歴史的資源の再生が地域の魅力を向上させ、入込観光客数の増に寄与した。	平成22年6月
	指標2	防災活動回数	回/年	0	H17	6	H21		6	○	ありなし	防災活動拠点の整備により、定期的な防災活動が実施されている。	平成22年6月
	指標3	異文化交流イベント開催回数	回/年	0	H17	3	H21		5	○	ありなし	南米系を中心に多様なイベントが開催され、地域の賑わい創出に貢献している。	平成22年4月
	指標4										ありなし		
指標5										ありなし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	施設閉鎖後の旧神戸移住センターは荒廃が進み、景観への悪影響や防犯面での不安が指摘されていたが、建築当初の意匠の復元など景観に配慮した再整備を行った結果、周辺地域的美観が向上するとともに、地域住民の不安も解消された。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	既存建造物活用事業(旧神戸移住センター再整備)につき、建物の保存・再整備を推進する市民運動に地元のまちづくり協議会が委員として参画し、事業を支援してきた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 建物保存運動団体は再整備の実現に伴い協力委員会へ改組された。引き続き協力委員会と連携しながら地域の活性化に取り組んでいく。				
		既存建造物活用事業(旧神戸移住センター再整備)につき、3度にわたり住民説明会を実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き地域住民に対し必要な情報提供を行っていく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	建物保存運動団体を母体に協力委員会が組織され、再整備後の施設を中心とした地域の活性化に取り組んでいく。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も協力委員会と連携しながら地域の活性化に取り組んでいく。				

様式2-2 地区の概要

山本・中山手地区(兵庫県神戸市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値			
大目標: 地域の個性を活かした都市空間の再整備と防災性向上による街の活力の再生 目標1: 開港時から培われてきた地域特性、歴史的資源等を活用した、ひとびとが交流する賑わいのある魅力ある都市空間の創出 目標2: 地域の防災拠点強化による安全な都市基盤の構築		入込観光客数	単位: 人/年	7,903	H17	15,000	H21	30,000	H21
		防災活動回数	単位: 回/年	0	H17	6	H21	6	H21
		異文化交流イベント開催数	単位: 回/年	0	H17	3	H21	5	H21
			単位:		H		H		H
			単位:		H		H		H
		■基幹事業 ・既存建造物活用事業 (観光交流センター、地域防災施設) 旧神戸移住センターを観光交流拠点として全面改修するとともに、周辺地域のための防災備蓄倉庫の再整備を行う。		■基幹事業 ・地域生活基盤施設 (観光案内板、案内サインの整備) 当地区の東側に位置する異人館街と連携した観光案内板、案内サインを設置し、両地域一体となった集客性・回遊性の向上を図る。		○関連事業 旧神戸移住センター再整備に合わせて消防器具庫及び消防団詰所を整備する。		□提案事業 ・まちづくり活動推進事業 (異文化共存のあり方の社会実験) 旧神戸移住センターを拠点に、地域内に点在する異文化関連施設や文化施設、放送局等と連携し、セミナーやイベント開催を通じて異文化との共存のあり方について社会実験を行う。	
既存建造物活用事業(再整備前)		既存建造物活用事業(再整備後)		■基幹事業 ・高質空間形成施設 (植栽・緑化施設) かつて移住者が神戸港へと通った鯉川筋の歴史にちなみ、鯉川筋に隣接する山本通公園、トア市民公園及び旧神戸移住センター前に、シンボルツリーとしてブラジルの国花「イペ」を植樹する。					
凡 例 		まちの課題の変化 ・旧神戸移住センター再整備を契機に、ブラジル移住をはじめ当地域の歴史的資源に対する関心が高まるとともに、同施設を活用して南米系を中心に多様な交流イベントが開催されるようになり、当地域を訪れる観光客が増加した。 ・同施設の耐震化により指定避難所としての機能が向上するとともに、防災活動の拠点として消防団詰所が整備されることにより、地域の防災力が向上した。							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・観光マップの作成や観光モデルコースの設定など、隣接する北野地区の異人館街や鯉川筋南部と連携した集客・回遊性向上の取り組みを進める。 ・協力委員会やNPO等と連携しながら、地域の有する歴史的資源等の魅力のさらなる発信に努める。 ・当事業の中核施設である旧神戸移住センターが多くの方々に末永く活用されるよう、効率的かつ魅力的な管理運営を行う。 ・自治会や防災組織と連携した防災活動や啓発活動など、防災に関するソフト面での取り組みを進める。							